

I. センターの主な事業

(特別事業) 10周年記念事業プロジェクト

1) PSC 創立 10周年記念シンポジウム 「NPO と企業の協働 “これまで・これから”」の開催

事業目的	NPO と企業の協働に関するこれまでの 10 年を振り返り、これからの可能性を考える。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・協働を目指す NPO・企業に対し、基調講演、シンポジウムの記録を活用できる共有財産として残す。 ・参加者目標 150 名
事業内容	<p>PSC および PSC 創立 10 周年記念式典、基調講演、シンポジウム、交流会等の開催。</p> <p>開催日時：2008 年 7 月 12 日(土) 13:30～18:30</p> <p>会 場：ウィルあいち大会議室</p> <p>内 容：PSC 創立 10 周年記念式典</p> <p>主催者挨拶 : PSC 代表理事 岸田眞代</p> <p>来賓祝辞(代読) : 愛知県知事 神田真秋氏、名古屋市長 松原武久氏</p> <p>感謝状贈呈 : 設立当初より PSC の会員の皆様に感謝状を贈呈。</p> <p>(企業会員 7 社、NPO 会員 10 団体、個人会員 12 名、P 賞共催団体 2 法人)</p> <p>基調講演 「日本経済のゆくえ—PSC10 周年に寄せて—」</p> <p>講演：水谷研治氏 (東京福祉大学大学院教授、経済学博士)</p> <p>シンポジウム 「パートナーシップ大賞グランプリ受賞者によるパートナーシップ大賞受賞 “その後” と “これから” を語る」</p> <p>◆パネリスト</p> <p>吉田三千代氏 (N) 「飛んでけ！車いすの会」 (第 1 回：車いすの集配・はこび愛ネット事業)</p> <p>大島誠氏 (株)上越タイムズ社 (第 2 回：地域メディアフル活用の NPO 情報発信事業)</p> <p>馬塚丈司氏 (N) サンクチュアリーエヌピーオー (第 3 回：ビーチクリーン作戦&子がめ放流会事業)</p> <p>小川雅由氏 (N) こども環境活動支援協会 (第 4 回：企業ができる子どもたちへの環境学習支援事業)</p> <p>木村浩一氏 京阪電気鉄道(株) (第 5 回：点から線へ、線から面へのまちづくり事業)</p> <p>コーディネーター：岸田眞代 (PSC 代表理事)</p> <p>バイオリン演奏 YOKO 坂井田氏</p> <p>交流会</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記念式典で 10 年間の感謝を伝えることができた。シンポジウムは NPO と企業の協働の最先端を示すものとも言えるもので、その内容は 2009 年度に出版の予定。 ・ 当日の模様を記録映像として DVD を作成した。 ・ シンポジウム参加者 122 名

2) 記念誌「PSC10年のあゆみ 1998—2008」作成と会員への配布

(沿革、10年+αのあゆみ、キーワードでみるPSCの活動など 20P)

10周年プロジェクト委員：相羽博文氏、面高俊文氏、柏木はるみ氏、水谷久美氏、宮下太陽氏、安井和史氏
鷺見 修氏

3) 「あいち未来塾・地域プロデューサー形成事業」(2. コラボレーション事業の1参照)

4) 新池下ピアザ 新たに教室(新池下ピアザ)を開設。

1. 「パートナーシップ大賞」事業

1) 第6回パートナーシップ大賞

事業目的	NPO と企業の優れた協働事業を顕彰することによって、社会や地域のさまざまな課題を浮かび上がらせ、その解決方法等を提示することで、NPO と企業の協働を促進し、新しい市民社会・新しい公共の実現に寄与することを目的とする。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業の応募目標数 25 件 ・最終プレゼン発表・贈呈式の参加者目標 100 名 ・第5回事例集を11月に出版
事業内容	<p>①「第6回パートナーシップ大賞」の募集 募集期間：6月1日(日)～7月31日(木)</p> <p>②審査および調査 第1次選考：8月23日(土)予備選考、8月24日(日) 池下ピアザ *応募事業を欄外に記載 審査員6名、調査員・事務局9名 計15名 *選出された11事業に対し調査員によるNPO・企業への現地調査を実施。 第2次選考：10月18日(土)予備審査、10月19日(日) 池下ピアザ 審査員7名、調査員・事務局10名 計17名 調査員の現地取材調査にもとづき、選考を実施。 最終プレゼンテーションを行う6事業を選出。 審査員：今田忠氏（市民社会研究所所長／前日本NPO学会会長） 嶋田実名子氏（花王㈱コーポレーションコミュニケーション部門CSR推進部長） 原田勝広氏（日本経済新聞社 編集委員） 福井美知子氏（石坂線21駅の顔づくりグループ 代表） 藤井絢子氏（滋賀県環境生活協同組合 理事長） 寺内昇氏（日本財団 経営企画グループ長） 岸田眞代（PSC 代表理事）</p> <p>③最終選考およびグランプリ発表・贈呈式の開催 開催日：11月23日(日) ウィルあいち 大会議室（名古屋市東区） 内容：6事業の最終プレゼンにより「パートナーシップ大賞グランプリ」が決定。 ◆第6回「パートナーシップ大賞グランプリ」 「地域社会の防災力の向上に向けた協働事業（大阪府・東京都） NPO：特定非営利活動法人プラス・アーツ 企業：東京ガス株式会社 ◆ミニ講演「第4回パートナーシップ大賞受賞その後」 小川雅由氏（(N) こども環境活動支援協会事務局長） ◆懇親パーティー（参加者46名）</p> <p>④P賞運営委員会の開催 開催日：4月19日(土)、5月25日(日)、7月21日(月祝)、8月23日(土)、10月18日(土)、 12月21日(日)、2月27日(金) 運営委員(兼調査員)：面高俊文氏、河井孝仁氏、杉田教夫氏、高浦康有氏、小室達章氏、藤野正弘氏、 日下部純子氏、高井昭平氏、菅野広治氏、藤孝博氏 事務局(岸田眞代、水野真由美、下平恵美、塩田和雅、パトリツィア、植松久芳)</p> <p>⑤サポーター募集 協賛いただいた企業&個人：三井住友海上火災保険㈱、三井住友海上スマイルハートクラブ、トヨタ</p>

	自動車(株)、(株)デンソー、(株)デンソーユニティサービス、シーキューブ(株)、京阪電気鉄道(株) (株)アバンセコーポレーション、(財)中部産業活性化センター、戸成司朗氏
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・応募件数 22 件 ・最終選考・発表・贈呈式参加者 113 名 ・第5回事例集「点から線へ 線から面へ」を11月23日に出版 <p>応募を検討しながらも最終的に取りやめた団体が3団体あった。出版等で過去の入賞事例も広く公開されており、レベルの高さがむしろ応募する側に対してハードルを高くしていることも考えられる。</p>

◆応募事業

パートナーシップ賞 (第2次審査選出6事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・TOA MUSIC WORKSHOP 事業 (京都府・兵庫県) ・多摩センター百貨店ビル子育てひろば事業 (東京都) ・環境NPOの組織基盤強化支援事業 (東京都) ・地域社会の防災力の向上に向けた協働事業 (大阪府・東京都) ・遠野ツーリズム体感合宿免許プログラム事業 (岩手県) ・「5本の樹」による生物多様性保全事業 (東京都)
調査事業 (第1次審査選出11事業)	上記のほか、トヨタ・子どもとアーティストの出会い (東京都他)、ドリカムスクール社員研修型 CSR (大阪府)、地域の活性化に資するこんぶ陸上養殖 (北海道)、NEC ワーキング・マザーサロン (東京都)、嵐電沿線協働緑化プロジェクト (京都府)、
その他の応募事業 (応募総数22件)	上記のほか、幸せになる笑顔 (東京都)、マナーキッズプロジェクトの展開 (東京都)、環境にやさしいプール清掃と環境学習 (福井県)、東京で沖縄の特産品を広めるインターン (沖縄県)、エコカーで体感型環境学習 (和歌山県)、四川省大地震被災地にテントを贈ろう (静岡県)、団塊世代向けフリーペーパーによる啓蒙 (東京都)、障害者作業所で行う飲食店向け食品加工 (京都府)、子育てサポート仙台0123 泉託児室 (宮城県)、障がい者と協働で廃食油回収 BDF 製 (鳥取県)、食育と無料健康測定の協働 (東京都)

2) 事例集の出版等

①『点から線へ、線から面へー第5回パートナーシップ大賞事例集ー』

発行：11月23日 (風媒社)

内容：第1部「ケーススタディ編」パートナーシップ大賞の事例から

第2部「資料編」データで見る第5回パートナーシップ大賞

②「第6回パートナーシップ大賞」の入賞事例を掲載した本の出版準備。



2. コラボレーション事業

1) 「あいち未来塾・地域プロデューサー形成事業」

<(財)中部産業活性化センター(CIAC)との協働事業> (あいちモリコロ基金助成事業)

事業目的	地域活動のリーダー(地域プロデューサー/NPOのリーダー)となりうる人材の発掘と養成を1期2年かけて実施。PSC10周年記念事業のひとつとして位置づけ、この先10年を展望する。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・募集人員(25名)を満たす第1期塾生の確保 ・1年目基礎実践コースによるNPOの基礎知識等の獲得 ・次年度以降の資金調達(あいちモリコロ基金獲得)

<事業内容>

①入塾式

開催日：6月22日(日)14:00～ 名古屋栄ビル 特別会議室

記念講演：「日本経済のゆくえ」塾長 水谷研治氏

ワークショップ：運営委員と塾生による交流

懇親会：終了後、塾長、運営委員、塾生らの参加により実施。

②本講義の実施

日程	講師	テーマ・会場
7月19日 (土)	岸田眞代 (N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事	NPOの基礎知識と仲間づくり 名古屋工業大学19号館2階202セミナー室
8月9日 (土)	服部則仁氏(運営委員) (医)愛知集団検診協会会長	NPOと社会 地域をプロデュースする 名古屋栄ビル 中会議室
9月20日 (土) ～21日(日)	松下典子氏(運営委員) (N)地域福祉サポートちた代表理事 他現地NPOの方々	知多地域のNPO活動は地域に何をもたらしたか 半田市・知多市・大府市でフィールドワーク 宿泊施設「あいち健康の森」(大府市)他
10月25日 (土)	堀越哲美氏(運営委員長) 名古屋工業大学大学院教授	調査と分析 フィールドワークの成果による 会場：名古屋工業大学19号館2階202セミナー室
11月8日 (土)	安藤明夫氏(運営委員) 中日新聞社生活部次長	取材手段・方法 名古屋栄ビル 特別会議室
12月6日 (土)	鷺見 修氏(運営委員) 名古屋市子ども青少年局	地域にとって防災とは 名古屋栄ビル 特別会議室
1月24日 (土)	面高俊文氏 (株)デンソーユニティサービス顧問	企業市民活動とCSR 池下ピアザ
2月22日 (日)	岸田眞代 (N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事	リーダーシップと合意形成～個人と組織 池下ピアザ

③塾生会

- ・塾生会：7月19日(土)、8月9日(土)、10月12日(土)、10月25日(土)、11月8日(土)、12月6日(土)、1月24日(土)、2月22日(土)、3月8日(日)
- ・自主活動：「おうみ未来塾」中間報告会参加：9月23日(祝)
安城市内でのフィールドワーク：12月13日(土)
NPOへのヒアリング調査：12月～1月 等

④運営委員会：6月3日(火)、2月10日(火)、3月18日(水)

- ・運営委員／堀越哲美(名古屋工業大学大学院教授) 安藤明夫(中日新聞社編集局生活部次長) 服部則仁(医療法人愛知集団検診協会会長) 松下典子(NPO 法人地域福祉サポートちた代表理事) 鷺見修(名古屋市子ども青少年局)
- ・運営委員による個人面談：3月8日(日)、15日(日)、18日(水)

⑤事業記録DVD、本講義抄録の作成

⑥21年度モリコロ基金応募と公開審査：2月28日(土)

- ・企画案に塾生の意見を反映し公開審査には塾生の参加を得てプレゼンし、2年目の採用が決定した。

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期塾生 24名 ・あいちモリコロ基金より21年度(2年目)助成を獲得 <p>マスコミに紹介されたこと、会社員、学生、主婦、元議員などさまざまなキャリアを持つ方の応募があったことから、社会へのインパクトはあったと思われる。</p> <p>事業初年度ということもあり運営面でやり残したこともあったが、次年度は運営委員会、塾生会との連携強化により課題解決の迅速化を図り「あいち未来塾」の実績につながる活動を促進する。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2)「第3回企業&NPO 協働アイデアコンテスト」

<(財)中部産業活性化センター(CIAC)との協働事業>

事業目的	NPOから企業へ協働事業実施の働きかけの場を設定することで、NPOと企業の協働を推進する。
------	-----------------------------------------------

事業目標	・応募目標数 20件 参加者目標 100名
事業内容	<p>・中部5県のNPOから企業との協働アイデアを募集、書類選考を通過した団体が最終選考会でプレゼンテーション。審査員及び参加者による投票で各賞を決定した。</p> <p>①募集期間：2008年8月15日(水)～10月15日(木)</p> <p>②書類選考：10月28日(火) CIACとPSCによりプレゼンテーションを行う5事業アイデアを決定。 選考：5名(小林宏之氏、榊原元氏、岸田眞代、塩田和雅、山崎恵美子)</p> <p>③公開選考会・交流会：12月17日(水)、名古屋栄ビル12F大会議室 各賞の事業アイデアは欄外に記載 審査員：堀内勉氏(東邦ガス株式会社企画部次長)、依田耕治氏(株式会社三菱東京UFJ銀行企画部部長)、杉本明隆氏(愛知県県民生活部社会活動推進課主幹)、小林宏之(中部産業活性化センター専務理事)、岸田眞代</p> <p>④フォローアップ：アイデア実現へのサポートのためのフォローアップを行った。 2月2日(月)、3日(火) 全国福祉理美容師養成協会</p> <p>⑤追加助成の決定：「第2回企業&NPO協働アイデアコンテスト」最優秀賞 長野サマライズセンターに(3月)</p>
成果と課題	<p>・応募数 21件(20団体)</p> <p>・コンテスト参加者 101名</p> <p>参加者アンケートからも、この事業がNPOにも企業にも、また社会にもインパクトを与え、支持されていること明確になったことから、次年度の実施も決定した。</p>

◆受賞事業

	事業名	団体名	事業概要
最優秀賞	訪問理美容用シャンプー台開発、販売事業	(N)全国福祉理美容師養成協会	寝たきりの高齢者、障害者などを対象にした、簡便に利用でき、安価なシャンプー台の開発・販売を目指す。
優秀賞	食料品関連企業とのフードバンク協働事業	(N)セカンドハーベスト名古屋	地元の企業が抱える市場性のなくなった食料品の寄付を募り、それを生活困窮者や福祉施設へ提供する。
特別賞	使用済みペットボトルキャップの岐阜県内再資源化事業	(N)ぎふNPOセンター	岐阜県内の使用済みペットボトルキャップを、県内のリサイクル業者に売却し、世界の子どもたちのワクチンに換える。
奨励賞	地球とこころに優しい環境アート「ゆめホテル」を用いた、環境行動啓発事業	(N)武豊文化創造協会	愛知県武豊町で、小学校等を対象に、LEDを用いた環境アート「ゆめホテル」を活用して環境行動啓発活動を実施する。
奨励賞	メンバーズプロジェクトー大企業が、地域の一員として、地域の課題を解決するー	(N)みえきた市民活動センター	三重県北部にも拠点をおいて活動している大企業が、NPOと交流しながら、一緒に企画提案をして地域の課題解決に取り組む。

＜その他の応募事業＞

「美容福祉スタイリスト」養成・派遣事業(富士市)、企業の地域参画アシスト事業(名古屋市)、働く場所がここにある(愛西市)、里山再生事業(知多郡南知多町)、高齢社会型「作業販売」によるミドル人材センターづくり(名古屋市)、「里ミミプロジェクト」における、企業協働事業(塩尻市)1日ボランティアデーの開催(名古屋市)、定年を迎えるベテラン(シニア)従業員によるジョブコーチの養成(名古屋市)、21世紀型養蚕事業による里山再生(名古屋市)、知多地域の特産物の商品・開発化～中高生の居場所づくり 障害者の居場所づくりの一環として～(半田市)、ボラみみのWebデータベースを活用したボランティア募集情報の共有化(名古屋市)、エンゼルメイク(死化粧)用品開発(日進市)、地産・地消 若者に受ける新しいいきしめんに挑戦(名古屋市)、食べて幸せ、飾り巻き寿司で夢をまこう(名古屋市)、企業と市民をつなぐ「絆つなぎウォーキング」(尾張旭市)、「CO2登録バンク」による「CO2削減の地域活動」と「里山林の保全」(西尾市)

3) 「福祉のまちづくりリーダー養成講座」 <名古屋市社会福祉協議会委託事業>

事業目的	地域の支え合い事業に関わるリーダーを養成する
事業目標	4年目の協働事業として、受講者10名以上の確保とリーダーの発掘。
事業内容	福祉の現場を把握しつつ社会の変化にも敏感に反応して、福祉事業における新たな気づきや想いを事業展開できるかたちにする。 ・養成講座(4年目)の実施(講座内容を欄外に記載) 受講者数:9名(1名 就職のため途中退校)

◆養成講座の内容

開催日	テーマ	講師
11月4日(火)	仲間と出会うNPOの基礎を理解する	岸田眞代(N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事
11月11日(火)	CSRの基礎を理解する	岸田眞代(N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事
11月18日(火)	組織運営の課題や新たな視点を学ぶ	川上里美氏(N)福祉サポートセンターさわやか愛知代表 松田曜子氏(N)レスキューストックヤード
11月25日(火)	新たな事業展開のヒントを得る	岩田淳氏(N)ころとまなびどっとこむ理事 岡部扶美子氏(N)パンドラの会代表理事
12月2日(火)	自分の思いを引き出す	岸田眞代(N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事
12月9日(火)	自分を知る	岸田眞代(N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事
12月16日(火)	事業計画をつくる	岸田眞代(N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事
12月23日(火)	事業計画を発表する	木村敏正氏(中小企業診断士) 岸田眞代(N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事

◆フォローアップの内容

- ・ステップアップ講座:3月10日(火)
- ・個別相談:6月11日(火)、10月28日(火)、11月19日(水)、12月12日(金)

成果と課題	<p>・受講修了者9名(1名就職のため辞退)。3月末日現在でNPO法人設立1名。受講者の方の福祉課題に対する問題意識が高かったこともあり、社会で課題となっているニーズを的確につかみ、自身が起点となって解決に臨む気持ちを向上できた。</p> <p>事業化するスキル、ハウツーを短期集中で習得することはたいへん難しく、講座修了後もプランの見直しや資金計画作成、(受講者の)モチベーション維持のサポートなどの機会を設けていただくよう市社協に提案する。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4) NPO 基盤整備セミナー「信頼されるNPOのための協働力向上セミナー」

<愛知県社会活動推進課委託事業>

事業目的	NPOやNPO支援センター職員を対象に、情報公開の重要性の理解や事業報告書の適正化を図ることにより、協働の担い手として信頼されるようレベルアップを図るための講座を開催する。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 延べ150名 ・参加者アンケートで、事業報告書に対する意識、セミナー満足度で70%以上
事業内容	信頼されるNPOになるための協働の理解と組織運営の基本、およびリーダーシップの習得を図る共通コースと、事業報告書作成と会計の基礎と実務についてはそれぞれ入門コースとレベルアップコースを設け、全5回のセミナーを実施する。

◆講座の内容

リーダーシップ	共通コース	12月11日(木)	岸田眞代 (N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事
事業報告書	入門コース	1月15日(木)	岸田眞代 (N)パートナーシップ・サポートセンター代表理事
	レベルアップコース	1月29日(木)	
会計	入門コース	2月12日(木)	三品雅義氏 (税理士)
	レベルアップコース	2月19日(木)	

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・申し込み者数 178 名、当日参加者 138 名 ・参加者アンケートで、事業報告書に対する意識について、「意識が大きく変わった」「少し変わった」方は 91%。セミナー満足度が 92.2%。 <p>参加者アンケートで「誰も今まで教えてくれなかった」「きちんと学んだ事がなかった」という記述からわかるように、ニーズに合った内容を提供できた。情報公開の重要性の理解についても「自団体の甘さに気づいた。持ち帰り改善していきたい」など、セミナーを通じてかなり動機付けができたと思われる。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5) 企業と NPO 等の協働による環境活動促進意向調査 <愛知県環境部環境政策課委託事業>

事業目的	企業と NPO 等との参加・協働による環境活動の活性化のため、協働による活動の実態及び協働に対する双方の意向を、アンケート調査等を通じて把握し、活動促進に当たっての課題と対応策について取りまとめる。2001 年度との調査比較についても実施する。
事業目標	・調査回収率 企業 40% NPO 等 60%
事業内容	<p>①アンケート調査：県内に事業所がある企業 508 社、県内の環境分野を中心とした NPO 等 158 団体に郵送にて実施</p> <p>調査期間：9月24日～10月10日</p> <p>主な調査項目：<企業向け>環境その他の社会活動等への取り組みの有無、NPO やボランティア団体との関わりの有無、環境活動に関連して協働する NPO に求めるもの等</p> <p><NPO 向け>環境活動における企業との関わりの有無、協働する場合、企業に求めるもの等</p> <p>②ヒアリング調査実施</p> <p>企業 5 社 (東海労働金庫、中部ガス(株)、(株)パスコ中部営業部、アイシン精機(株)、常らく(株))</p> <p>NPO 等 5 団体 (EPO 中部、(N)朝倉川育水フォーラム、(N)犬山里山学研究所、(N)堀川まちネット、エコ塾ネットワーク)</p> <p>ヒアリング期間：12月10日～1月14日</p> <p>③報告書作成 (A4 判 81 ページ 普及版ガイドブック A5 判 9 ページ)</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・調査回収率 企業 38% NPO 等 51% <p>主任担当者が最終の分析・報告書作成段階で病気欠勤が続いたため、即フォロー体制をしいたが、行政側との調整等に若干の支障をきたした。調査をもとにどのような方向性を出すのか等について、行政と事前に合意を得ておくことが必要であろう。</p>

3. コーディネート事業

1) 環境 NGO と市民の集い <独立行政法人地球環境再生保全機構地球環境基金委託事業>

事業目的	生物多様性の豊かな社会を実現するために、「生物多様性とは何か」「それに対して私たちは何ができるのか」「企業とNPOが協働して何ができるのか」を考える。
事業目標	参加者 100名
事業内容	<p>「市民・NGO・企業が協働して生物多様性の豊かな社会へ」をテーマとしたフォーラムの実施。</p> <p>開催日：1月23日(金) ウィルあいち大会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「企業のCSR活動とNGOの協働が創り出す生物多様性の豊かな社会へ」 名古屋市立大学准教授 香坂玲氏 (国連環境計画生物多様性条約事務局元職員、COP10支援実行委員会アドバイザー) ・助成団体の助成活動成果の発表 (3分科会) 中部圏環境NGO 19団体 ・ポスターセッション ・企業のNPOとの協働事例発表、全体意見交換会 <p>コメンテーター：岩原明彦氏 ((株)デンソー経営企画部CSR推進室長)、山田厚志氏 ((株)山田組 代表取締役)、戸成司朗氏 (東海ゴム工業(株)総務部参事社会貢献推進室長)、辻 敦夫氏 ((N)藤前干潟を守る会代表)、滝川正子氏 (なごや東山森づくりの会代表)、藤井清明氏 ((N)グリーンエネルギー推進機構代表理事)</p> <p>コーディネーター：岸田真代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇親会・交流会
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 144名 <p>参加者数が目標を大きく超え、NPO 52名、企業 29名、行政 19名、その他 44名と多様であったことから、今回のテーマ「生物多様性の豊かな社会」への啓発と、協働の検討は達成できた。さらに、広く参加者を募るのであれば、所要時間、内容など開催のあり方を検討することが必要。</p>

2) なごや環境大学

実行委員会事務局(次長)として名古屋市から業務委託を受け、2006年4月1日から継続実施。

3) 「新春交流会」の開催

企業とNPOの交流の場として毎年実施。今年は10周年記念としても位置づけた、新しい教室のお披露目も兼ねて実施した。

日時：1月26日(月) 18:00~20:00

会場：新池下ピアザ

参加者：計36名

4. コンサルティング事業

1) 三井住友海上「NPO 喫茶カフェアイリス」支援

運営会議：5月26日(月)、6月25日(水)、9月8日(月)、10月6日(月)、11月5日(水)、12月8日(月)、2月5日(木)、3月5日(木)

2) 保養所「あり方の検討」(愛知県都市職員共済組合)

事業目的	共済組合が抱えている保養所の課題を明確にし、今後のあり方について、NPOの立場から意見や方向性を提示する。
事業目標	ステークホルダーによる会議手法を提示し、それらをもとに意見集約と地域を生かした「あり方」についてのNPOらしい提案を行うとともに、PSCとしての新しい分野でのコ

	ンサルティング能力を高める。
事業内容	<p>愛知県都市職員共済組合の保養所の今後のあり方について、中小企業診断士やマーケティングの専門家(いずれもPSC会員)とともに、以下を実施した。</p> <p>①プレゼンテーションおよび採用決定：5月7日(水)</p> <p>②資料収集・分析：5月～</p> <p>③利用者アンケート：5月30日(金)～6月10日(火) 回答：611名(12市)</p> <p>④ヒアリング： 1回目 伊良湖 6月1日(日)・2日(月)、 2回目 いづたが 6月12日(木)・13日(金)、 3回目 越路 6月25日(水)・26日(木)</p> <p>⑤ステークホルダーワークショップ：7月17日(木)、8月4日(月)、8月20日(水)、 8月22日(金)、8月27日(水)</p> <p>マルチステークホルダー会議：9月3日(水) 計75名</p> <p>⑥報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間報告：7月25日(金) ・専門家ミーティング：9月19日(金) ・報告会：10月7日(火)、10月10日(金) <p>⑦コンサルティング開始：12月10日(水)～</p> <p>⑧研修会：2月16日(月)接客マナー&サービス基本研修</p>
成果と課題	<p>企画内容および方法論について依頼者から注目され、それに基づいて実施しまとめた提案書は、依頼者による全会一致で採択され、方向性を確認した。それに基づき、引き続きコンサルティングを行なうことになった。</p> <p>同時に、このプロセスを通じて、新しい分野におけるコンサルティング能力の獲得およびレベルアップにもつながった。</p>

3) 企業・NPO・行政各種相談等

企業が取り組むCSRについて、NPOの立場からのコンサルティングやCSR研修・ステークホルダー会議などで提言を行なった。NPOに対しては企業との協働や申請書の書き方など、個別課題に対してのアドバイス等を行なった。

NPO等	交通事故サポートプログラム：4月17日(木)活動&協働相談、こころとまなびどっとこむ他：5月27日(火)、新城青年会議所：9月12日(金)、アジア保健研修所(AHI)：10月22日(木)、12月3日(水)コンサルティング&個別指導、パンドラの会：10月29日(木)、11月6日(木)「経産省ノウハウ移転事業」コンサルティング、全国福祉理美容師養成協会：2月2日(月)、3日(火)、事業相談、「飛んでけ!車いす」の会：2月15日(日)事業相談 他
企業	ロート製菓：5月2日(金)社会貢献相談、東海ゴム：5月14日(水)、9月22日(月)社会貢献&協働相談、中部電力：5月20日(火)、11月21日(金)環境懇談会、損保ジャパン環境財団：6月16日(月)、1月13日(火)、三井物産：8月26日(火)、10月16日(木)、1月16日(金)、3月13日(金)、中日本高速道路：10月10日(金)、名古屋鉄道：2月3日(火)、3月16日(月)事業相談、アバンセコーポレーション：3月5日(木)公益法人相談 他
行政	愛知県：5月8日(木)、7月4日(金)事業相談、農林水産省：5月21日(水)事業相談、名古屋市長務局：7月3日(木)、29日(木)、10月9日(木)「開府400年記念事業」、横浜市市民活動推進課：11月28日(金)他

5. 教育啓発事業

1) 失業者向け委託訓練「NPO起業・就労科」 <愛知県>

事業目的	失業者を対象に、理論と実務面の両面からNPOを理解した上で、NPOの起業や就業、または、企業の社会貢献分野での仕事に従事できる人材を養成する。
事業目標	修了者の就職率が前年度と同水準以上(2007年度最終 52.6%)
事業内容	①NPOに関する知識やCSR(企業の社会的責任)の知識などとともに、実務に即した知識や技能の習得。 ②ワークショップや実際の申請書類等を使った実習、パソコン研修やNPOインターンシップ。 募集期間:5月22日(木)~6月2日(月) 説明会:5月22日(木)、26日(月)、29日(木)、6月2日(月) 入所選考:6月20日(金) 訓練期間:7月4日(金)~9月30日(火)の57日間(計339時間)、池下ピアザ他 受講生:16名(就職等により4名退校、修了者12名)

◆主な講座内容

テーマ	講師
NPOの基礎知識、様々なNPOの紹介、CSR	服部則仁氏、塚田隆氏、面高俊文氏、岸田眞代ほか
NPOの運営	NPO16団体、小室達章氏、河井孝仁氏、岡部扶美子氏、川上里美氏ほか
事業計画演習	岸田眞代
NPO会計・労務、事業計画書の作成	早坂毅氏、三品雅義氏、磯井隆之氏
NPOへのインターンシップ	(N)介護サービスさくら、(N)こころとまなびどっとこむ、(N)さわやか愛知、(N)スペース21、(株)デンソー、(N)パンドラの会、東山の森づくりの会、(N)ライフステーション・あいち
パソコン研修	井田克一氏

成果と課題	・3月31日現在 35.7% (うちNPOへの就業1名) 講座への満足度は高いものの最大の課題は就職率が低く、講座の本来の目的を達成していないこと。NPO等への就業だけでなく、ソーシャルビジネスの起業を重視したカリキュラムに変更する。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2) 株式会社 デンソーユニティサービス「ビジネスマナー&マインド研修」

「ビジネスマナー&マインド」研修(今年度で8年目)の実施。各20名ずつ年4回。

7月9日(水)、9月10日(木)、10月8日(水)、11月12日(水)

3) その他講師派遣等

熊谷青年会議所(埼玉)	4月11日(金)	「地域活動の活性化をめざして～起こせ積極的変化!～企業とNPOの協働によるまちづくり」
農林水産省	6月24日(火)	「都市と農村の協働の推進に関する研究会」ヒアリング
(社)愛知県雇用能力開発協会	7月26日(土) 9月4日(木)	「NPO活動」
神奈川県コミュニティカレッジ	9月11日(木)	NPOと企業の協働—CSR、NPOとの協働事例—
京都府	10月2日(木)	第7回社会的責任を考える研究会 「CSRに効く!企業&NPO協働のコツ」
社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク	10月23日(木)	SRフォーラム 分科会「パートナーシップ大賞からみえてくるNPOと企業の連携の課題と可能性」
新城青年会議所(愛知)	10月24日(金)	地域の底力—NPOと企業の協働で拓く地域の未来
神奈川県	10月27日(月)	企業とNPO等との協働推進フォーラム

&(N)アドバイザーネットワーク神奈川		鼎談「協働のコンシェルジュ」
パンドラの会	11月6日(木)	CSR&NPO セミナー 「企業との協力関係構築に向けての取り組み」
みとよ青年会議所 (香川)	11月29日(土)	市民まちづくり講演会「新たなる公共の実現に向けて —NPO と企業のパートナーシップ」
宮城県 (石巻市、大崎市)	12月6日(土) 7日(日)	みやぎ NPO マネジメントセミナー 「事例から学ぶ! NPO と企業との協働」
経済産業省・ソーシャルビジネス推進イ ニシヤティブ普及啓発・企業等とのマッ チング専門委員会	12月25日(木)	「パートナーシップ大賞」からみえてくる企業と NPO の 協働ケーススタディ
(財) 高速道路技術センター	1月27日(火)	NPO と企業との係わり～地域との協働に向けて～
経済産業省 ソーシャルビジネス全国フォーラム	3月19日(木)	パートナーシップスタディ分科会 「リサイクル・CO2削減」コーディネーター
EPO 中部 (環境省中部環境事務所)	3月19日(木)	協働を考える 20人ダイアログ

6. 調査研究事業

1) 「企業の環境・CSR 活動等に関する調査・分析および促進へ向けたアプローチ・ツールの検討Ⅲ」 ＜地球環境基金助成金事業＞

事業目的	企業の環境への取り組みや社会的責任についての調査・分析を行なうとともに、経年変化を把握し、企業の環境活動や CSR の促進へ向けたアプローチのためのツール等を検討する。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・環境および CSR の専門家による委員会を設置し、3年間の総括を行なう。 ・中小企業を含むすべての企業が環境問題や CSR を推進し、CSR 報告書の発行等ができるようなアプローチ・ツールを構築する。
事業内容	<p>①CSR 報告書・環境報告書の 100 社分析と経年変化の分析(2006～2008 年度)</p> <p>②CSR・環境分析検討委員会の発足 検討委員：面高俊文氏、川上里美氏、滝川正子氏、戸成司朗氏、藤井清明氏、山田厚志氏 ファシリテーター：香坂玲氏 (名古屋市立大学准教授) 開催日：第1回 7月31日(木)、第2回 9月22日(月)、第3回 12月4日(木)、第4回 1月21日(木)、第5回 2月23日(木)</p> <p>③中堅・中小企業への取材 (10月～11月) アマタ株式会社、大栄サービス株式会社、小林クリエイティブ株式会社、前田バルブ工業株式会社、株式会社マツザワ瓦店、株式会社山田組、株式会社桃の館</p> <p>④企業と NPO の意見交換会 開催日：1月21日(水) 企業：赤澤健一氏 (大栄サービス株式会社代表取締役)、松澤新子氏 (株式会社マツザワ瓦店)、岩原明彦氏、 NPO：馬塚晴之氏 ((N)サンクチュアリーエヌピーオー事業部長)、滝川正子氏(なごや東山森づくりの会)、篠田陽作氏 (ネイチャークラブ東海代表)、 検討委員 5 名 (オブザーバー参加) ファシリテーター：岸田真代</p> <p>⑤報告書の発行 (3月31日発行)</p>

成果と課題	CSR の調査分析による 3 年間の経年変化を含みながら結果報告をまとめ、CSR 活動促進のためのアプローチ・ツールの素案を作成した。 CSR の進展に伴い従来の評価項目だけではとらえきれない要素があり、定点観測とともにそれをどう反映していくか、また、中小企業へいかに推進していくかが課題である。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2) 「SR・NPO 研究会」(自主事業)

事業目的	NPO や組織の社会的責任(SR)に関するホットな話題やあるべき姿、さまざまな事例等について、NPO と企業がともに学ぶ場を提供する。
事業目標	ISO/SR ガイドライン化や公益法人改革の実務に関する学習会や事例研究など、ホットな話題を学ぶ機会をつくる。
事業内容	公益法人の設立に向けての検討会 ・ PSC 理事からの依頼により定住外国人への支援案に対する提言と財団設立に向けての検討会を実施。 ・ 3月12日(木)、3月26日(木)
成果と課題	公益法人制度に関する実務講座を企画したが、参加者が少なく時期を延期した。一方で、公益法人設立に向けての現実的な動きについて検討する機会を得ることができた。

7. 情報受発信事業

1) 「PSC Report」の発行(奇数月1日発行)

59～64号を滞りなく発行。発送については多くのボランティアの方の協力を得ることができた。次年度(65号)よりリニューアルの予定。

Vol.	発行日	内 容
59	2008年5月1日	あいち未来塾開講案内、PSC10周年記念フォーラムの案内、2007年度の主な事業、理事会、環境・CSR報告書第2弾、協働アイデアコンテストその後他
60	7月1日	あいち未来塾スタート!、第3回アイデアコンテスト募集、2008年度の主な事業、NPO・起業就労科スタート!、定時総会・役員紹介、第6回P賞募集他
61	9月1日	PSC 創立10周年記念開催(フォーラム、基調講演等)、NPO サポート幹事会、保養所コンサルティング、環境・CSR調査分析検討委員会他
62	11月1日	第6回P賞へのお誘い、あいち未来塾合宿、ステークホルダー会議(コンサル)、愛知県環境調査(企業&NPO)、環境NGOと市民の集いのお誘い他
63	2009年1月1日	新春挨拶、第6回P賞グランプリ発表・贈呈式、第3回アイデアコンテスト各賞決定!&講評、福祉のまちづくりリーダー養成、協働力向上セミナー他
64	3月1日	環境NGOと市民の集い、NPOのための協働力向上セミナー、PSCの新教室、中小企業のCSR推進意見交換会、環境調査ヒアリング、公益法人相談他

2) ホームページの運営&メーリングリストの活用

HPについては、内部化により週1回以上の更新を目指したが、講座・イベント情報の更新のみに留まった。

あいち未来塾のMLを新たに開設。

3) 各種報告書・ポスター・リーフレット等の発行

- ・「PSC10年のあゆみ」(10周年記念誌、PSC10周年記念イベントDVD)
- ・第5回パートナーシップ大賞受賞事例集「点から線へ、線から面へ」(風媒社)「第6回パートナーシップ大賞」ポスター
- ・「第3回協働アイデアコンテスト」ポスター

- ・「企業の環境・CSR活動等に関する調査・分析および促進へ向けたアプローチ・ツールの検討Ⅲ」(地球環境基金助成事業)
- ・「あいち未来塾」第1期生募集リーフレット、事業記録DVD、講義抄録
- ・「福祉のまちづくりリーダー養成講座」報告書

8. 提言活動その他の事業

1) 行政各種委員としての提言活動

なごや環境大学実行委員	4月8日(火)、5月16日(金)幹事会、10月24日(金)、11月27日(木)、1月16日(金)全体会議
淡海ネットワークセンター「おうみ未来塾」運営委員	4月25日(金)、6月15日(日)入塾式、9月23日(火祝)中間発表会、11月14日(金)、1月17日(土)10周年記念イベント
名古屋市公共事業評価監視委員	7月25日(金)、8月6日(水)、8月25日(月)、9月5日(金)、10月17日(金)、11月7日(金)
名古屋市交通問題調査会委員	4月25日(金)、8月5日(火)、1月7日(水)
名古屋市緑化基金委員	2月12日(木)
名古屋開府400年記念事業実行委員	6月6日(金)、12月8日(月)
協働ロードマップ検討会議 (愛知県)	8月29日(金)、10月16日(木)、11月5日(水)、11月26日(水)、12月19日(金)、2月17日(火)、3月3日(火)
経産省地域新事業創出発展基盤促進事業委員	11月25日(火)、12月25日(木)、2月9日(月)、3月19日(木)

2) 各団体との連携

- ・日本NPO学会:(理事)4月12日(土)「ソーシャルビジネス研究会」「CSR研究会」参加
- ・社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク:5月1日(木)設立総会
- ・日本NPOセンターとの連携:12月1日(月)市民セクター全国会議、CEOミーティング
- ・NPOサポートセンター全国幹事会:11月30日(日)、12月26日(金)、1月27日(火)、2月13日(金)~14日(土)
- ・NPO法人会計基準協議会:3月31日(火)
- ・NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会:4月16日(水)
- ・あいち子どもNPOセンター(理事):4月26日(土)理事会、5月18日(日)総会、12月13日(土)理事会・学習会
- ・愛知県社会福祉協議会「ボランティアフェスティバル」参加:1月11日(日)
- ・愛フェス2009NPO部会:2月11日(水・祝)、3月16日(月)
- ・NPO学会:3月20日(土)、21日(日)
- ・ボラみみ総会参加:11月30日(日)
- ・ウィルあいちの指定管理者の一員として定例運営会議への参加:4月23日(水)、7月23日(水)、8月20日(水)、9月25日(木)、10月28日(火)、11月26日(水)、3月19日(木)

3) その他

- ・愛知県市町村NPOボランティア担当者会議にて活動紹介:4月23日(水)
- ・「週刊東洋経済」名古屋特集号:(2008.5.21)「企業の社会的責任を考える~企業とNPOは水と油か」と題して「パートナーシップ大賞」の紹介
- ・朝日新聞:2008.7.3愛知総合面に「企業とNPO橋渡し10年」の見出しで掲載
- ・各講演等の記録掲載用原稿
- ・大阪市「事業仕分け」:2月8日(日)
- ・あいち協働ルールブック推進フォーラム:2月17日(火)

Ⅱ. センターの運営に関する活動

1. 2008年度 定時総会

日時：5月31日(土)13:30～

場所：ウィルあいち 会議室4

内容：審議事項 2007年度事業報告、収支決算の承認
2008年度事業計画案、収支予算案の承認
役員の選任
その他：第6回パートナーシップ大賞について
10周年記念事業プロジェクトについて
あいち未来塾について

参加人数：102名（うち委任状63名）

◆講演会：「PSC10年“これまで これから”～理事・監事として係わって～

講師：面高俊文氏(株式会社デンソーユニティサービス代表取締役・PSC 監事)

◆懇親会

2. 理事会

回数	実施日時	内容	出席者	実施場所
第1回	5月23日(火)	2007年度事業報告、収支決算報告 2008年度事業計画(案)、収支予算(案) 役員(理事)の選任	14名 (うち委任状5名)	池下ピアザ
第2回	5月31日(土)	2007年度事業報告、収支決算報告 2008年度事業計画(案)、収支予算(案) 役員(理事)の選任	15名 (うち委任状5名)	ウィルあいち 会議室4
第3回	10月31日(金)	2008年度事業報告、収支決算(中間)報告	13名 (うち委任状5名)	池下ピアザ
第4回	1月10日(土)	2008年度事業報告、収支決算(中間)報告 2009年度事業計画(案)	12名 (うち委任状4名)	セイラス蒲郡 (トヨタ自動車健康保険 組合保養所) 会議室
第5回	3月31日(火)	2008年度事業報告、収支決算報告 2009年度事業計画(案)、組織体制	11名 (うち委任状4名)	池下ピアザ

3. プロジェクト委員会等

10周年記念事業プロジェクト、パートナーシップ大賞プロジェクトを軸に、事務局とともに事業及び組織の運営を図る。

4. シニアボランティア(SV)会議

・定例会・・・4月23日(木)、5月22日(木)、6月19日(木)、7月31日(木)、8月21日(木)、
9月25日(木)、10月16日(木)、11月20日(木)、12月18日(木)、1月17日(木)
2月21日(木)、3月19日(木)

5. 事務局会議

毎週月曜日10:30～を中心に、事務局会議の定例開催。

6. 年次報告書発行

・2007-2008年次報告書の発行。